東京逓信病院ニュース
vol.134 けんこう家族
〒102-8798
東京都千代田区富士見2-14-23
TEL 03（5214）7111㈹
http://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/
発行／東京逓信病院　2019年10月1日

麻酔科新任部長からご挨拶

麻酔科部長　大辻　幹哉

本年４月に麻酔科部長を拝命いたしました大辻幹哉と申します。大学を卒業した後、複数の総合病院において手術麻酔を中心に経験を積んでまいりました。地域の皆さまの健康維持に少しでも貢献できるよう尽力する所存です。よろしくお願い申し上げます。

当院麻酔科は、手術室における麻酔管理、外来におけるペインクリニック、一般病棟における緩和ケアチームなどの活動をしております。これまで、平石禎子前部長の下、手術室においては「安心安全な麻酔」の提供、ペインクリニックにおいては神経ブロックやレーザー治療を含む多角的な診療を心がけてまいりました。今後も前部長の哲学を継承しつつ、新しい医療を取り入れながら、信頼関係に基づくチーム医療を実践してまいります。

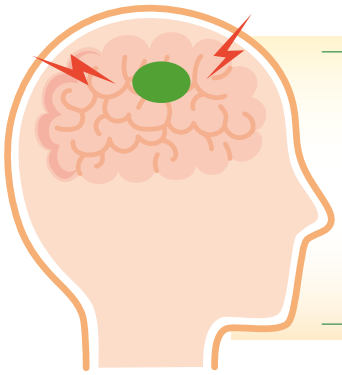
私たち麻酔科医は、皆さまが手術を受けられる際、あるいは、ペインクリニック外来にお越しの際にお目にかかることになります。

手術を受けられる方へ

手術を受けられる方におかれましては、さまざまな不安があるとお察しします。麻酔についての不安もそのひとつではないでしょうか。私たち麻酔科医は、皆さまがより安全に手術を受けていただけるよう力を尽くします。安全の確保に何よりも大切なことは、事前に皆さまのお身体の状態を正確に把握することです。手術が決まった後、私たちから皆さまのお身体についてお尋ねします。少し面倒くさいと思われるかもしれませんが、皆さまの生命に関わることと思ってご協力ください。それらの情報をもとに術前の準備を十分に行い、術中は適切なモニターを使用し、手術内容やお身体の状態にあわせた細やかな麻酔管理を行ってまいります。

痛みでお困りの方へ

当科ペインクリニック外来では、あらゆる痛みを総合的に診断し治療しています。当科に来られる患者さんを疾患別でみると、帯状疱疹後神経痛、椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などによる腰痛、下肢痛、頚部痛、肩の痛みが多く、その他に、三叉神経痛、癌性疼痛、外傷性・術後慢性疼痛なども診療しています。当科では、病態に応じて、神経ブロック、非侵襲性のレーザー、薬物などを組み合わせた総合的治療を行っております。痛みの原因は多岐にわたりますが、原因疾患によっては関連科と連携しながら診療を行います。初診は月曜日（午前・午後）、水曜日（午前）、木曜日（午前・午後）、金曜日（午前）です。



脳　腫　瘍

脳神経外科　医長
岡本　幸一郎

今年４月から東京逓信病院脳神経外科において、診療に従事させていただいております岡本幸一郎と申します。簡単な自己紹介となりますが、1988年旭川医科大学を卒業後、東京大学医学部附属病院で初期研修、その後茨城県立中央病院、東京都立駒込病院、国立国際医療研究センター病院にて多くの先生方の御指導を賜りました。

脳神経外科医としては、頭部外傷・脳卒中の急性期の治療に従事することがまずはその使命ですが、もう一つ別のものとして脳腫瘍の治療は手術のみならず放射線治療や日々進歩している化学治療の併用など集学的治療が必要となってきております。

脳腫瘍は脳の神経や細胞、脳を包む細胞から発生する原発性脳腫瘍と、からだのがんなどが脳に転移する転移性脳腫瘍に分けられます。

原発性脳腫瘍は、さらに良性と悪性腫瘍に分類されます。世界的基準であるWHO分類と悪性度（グレード）I、II、III、IVまで分類されています。

良性腫瘍は、グレードIが大部分で、代表的なものは、髄膜腫、神経鞘腫（しんけいしょうしゅ）、下垂体腺腫などがあげられます。症状があるような場合には、頭部CTやMRI検査にて精査しメリットとデメリットを十分に検討して手術で摘出します。

悪性腫瘍はグレードIIからIVのもので、病変の場所により多彩な症状を示すことが多く、また頭部CT、MRI検査にて精査し、手足の運動や言語の機能などできる限り温存しながら手術を予定し、腫瘍の細胞を正確に診断（病理検査といいます）し、診断が確定すれば症状の悪化を防ぎながらできるだけ腫瘍を摘出し、その悪性度にみあった放射線治療や化学治療を組み合わせておこないます。

代表的なものとして、神経膠腫（しんけいこうしゅ）特に星細胞腫（せいさいぼうしゅ）と乏突起膠腫（ぼうとっきこうしゅ）です。これらはグレードIIのものと、グレードIIIに悪性化すると退形成性と病理診断名が長くなります。

グレードIVと最も悪性度の高いものは、神経膠芽腫（しんけいこうがしゅ）と呼ばれます。また特殊なものとして比較的高齢者に多い中枢神経系悪性リンパ腫や小児に発生するものなど様々存在します。

国内での脳腫瘍の発生頻度は年間およそ2万人といわれており、脳腫瘍の組織学的分類は驚くべきことに150種類にも上ります。

脳腫瘍に対する治療についても、もう少しお伝えしたいと思います。

手術において、脳機能をできる限り温存して腫瘍を取り除くために、手術中に２mm以内の精度を高めるナビゲーションや運動・聴力など神経機能を温存するための電気生理学的モニタリングでの監視体制、腫瘍細胞に術中蛍光診断、摘出程度の評価としての術中MRI検査、言語機能の温存を目的とする覚醒下手術など専門の技術を個々の症例に則して計画して治療を進めます。また化学治療も抗腫瘍薬や分子標的薬などが開発され、以前の治療成績より格段の進歩が得られております。脳腫瘍疾患の患者さんは、是非当科に御相談下さい。

内視鏡センターのご紹介

内視鏡センター部長
関川　憲一郎

内視鏡センターは病院2階の採血室の近くにあり、上部消化管（食道、胃、十二指腸）、下部消化管（大腸）、小腸、膵臓・胆道系（胆嚢、胆管）の内視鏡検査・治療が行われます。明るい白を基調にした内装でスペースも比較的広く確保され、音楽が流れてリラックスできる環境としています。トイレは６個室あり、女性専用も設置してあります。

ところで胃や大腸のカメラは、辛くて大変で怖いものと思っている方が少なくないのではないでしょうか。しかし現在は内視鏡はずっと楽で安全に受けることができる時代になっています。例えば以前の検査が辛かった方や初めてで不安や緊張が強い方には、希望により鎮静剤（緊張を減らしオエッとする嘔吐反射や痛みを減らす薬）の注射を使った検査も行っており、実際に受けられた多くの方から好評です。また口からでなく鼻から細いスコープを挿入することで苦痛が少ない経鼻内視鏡検査も選択が可能です。大腸検査では普通の空気よりもお腹の張り感が少ない炭酸ガス送気を使用し、また腹部手術後の癒着の影響で検査が難しい方でも鎮静剤や特殊な細径のスコープを使用することでほぼすべての方で検査が無事に達成できます。センターには鎮静剤を安全に使用するための検査中の血圧や呼吸状態を監視するモニターや、検査後に休息いただく回復室も完備しています。このように個々の患者さんの状況や希望にできるだけ沿い満足いただける診療を行えるような体制を整えています。

一般に調べにくいとされる小腸には、通院で行えるカプセル内視鏡があり、これは小指の先くらいのカプセルを飲み、腰に装着した小型のレコーダーに画像を記録するものです。最近は先端に超音波プローブのついた超音波内視鏡で胃や十二指腸を介して胆道や膵臓の病変を詳細に観察し、さらに病変を穿刺し組織を採取する処置（EUS-FNA）の件数も増えており、診断・治療に大いに役立っています。

治療としては、ポリープや腫瘍（早期がん、腺腫）の内視鏡的切除術（粘膜切除術：EMR、粘膜下層剥離術：ESD）、食道静脈瘤の治療、内視鏡的胆石除去術、胃ろう造設術などです。緊急処置としては、吐下血をきたした患者さんの止血術や、異物誤飲や胃内のアニサキス虫体の内視鏡的除去術などがあります。特に入院治療が必要なケースでは、内科系、外科系医師が毎週定期的にカンファレンスを行い協議し、緊密な連携をとり個々の患者さんに合わせた適切な治療を提案させていただきます。

検査のご希望がある方はまず各科の担当医にご相談ください。なお上部内視鏡は外部の医療機関からでも地域医療連携室を介して直接検査予約が可能ですので、近隣にかかりつけ医がおられる方はそちらにご相談いただくことも可能です。

最後までお読みいただきありがとうございます。是非当センターをご利用いただき、消化器疾患の早期診断、治療でお役に立てますようスタッフ一同これからも努力を続けてまいります。（当院のホームページ内でも当センターのご紹介をしております　https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/inspection/fiber/index.html）

交通のご案内

ご利用案内

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、精神科、外科（乳腺センター）、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科（関節鏡・スポーツセンター）、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック）、緩和ケア内科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

外来診療日

- 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

予約の方法・予約受付の時間帯等

- 電話での予約…9:00 ～17:00
  （土・日・祝日及び年末年始を除く）
- 電話番号……03-5214-7381

時間外（急患）診療

- 連絡先……03-5214-7768（救急診療室）

診療受付時間

窓口	午前の診療	8:30 ～ 11:00
	午後の診療	12:30 ～ 16:00
自動受付機（予約のある方のみ）		8:00 ～ 16:00

人間ドックセンター

- 連絡先……03-5214-7055、7167

オプションで脳ドック、肺がんドックも行っております。

注意事項

- **処方箋**は、使用期間［発行日を含めて４日（土曜・日曜・休日を含む）］を過ぎると無効になりますのでご注意下さい。
- **お薬手帳**を携帯しましょう。入院、外来、薬局で必要になる他、外出時の急病・受傷時にも有用です。

理　念

私たちは、患者さんに満足いただける心のこもった良質な医療を提供し、社会に貢献します。

防災訓練の実施

７月22日（月）に麹町消防署の立会いをいただき、火災発生時に迅速かつ的確に被害の拡大防止措置がとれるよう、防災訓練を実施しました。

今回の防災訓練は、火災に特化した訓練として行い、防災センター警備員による消火活動、病棟患者の避難誘導等を行いました。

消火活動訓練は、病院２階臨床検査科廊下での出火に対し、防災センター警備員による初期消火活動を行いました。病棟患者の避難誘導訓練は３階西病棟を仮設の病棟とし、東京薬科大学学生15名の方に複数のケースを想定した模擬患者としてご参加いただきました。これにより看護師が症状別の避難誘導を行う等実用的な訓練を行うことが出来ました。

訓練終了後に行われた反省会において、麹町消防署から、情報伝達に関するアドバイスを始め、数々のアドバイスをいただきました。

今後も、当院スタッフ全員が「災害時に自らが何をするべきか」を考え、行動できるよう、繰り返しの訓練により防災意識を高め、災害発生時の適切な対応等地域の中核医療機関としての使命・役割を果たしていきたいと考えております。

災害対策本部情報収集訓練

３階西病棟患者避難誘導訓練、２階消火訓練

ネコ先生の『神楽坂通信』Vol.3

消化器内科部長
光井　洋

皆様こんにちは。ご無沙汰しておりました。

今回のお話は、がんの検診についてです。ときどき、芸能人が進行したがんで闘病されているというニュースが流れることがあります。がんには、早期の段階で見つけられる種類のものとそれが難しいものがありますが、早期で見つけるためには定期的な検査が必要です。

病院にお通いの患者さんの場合、ご自分の病気に関する必要な検査は行われていても、保険ですべてのがんの検査ができるわけではありません。それを補うのが、がん検診です。胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんなどの検診が知られています。

ここでは私の専門の消化器における胃がんと大腸がんの検診を取り上げます。

胃がん検診は以前から、バリウムによる胃透視検査が主に行われてきました。しかし、最近になり胃がんの主な原因と母地が、ピロリ菌の感染とそれによって起きる萎縮性胃炎であることがわかってきました。これにより、ABC検診と言って血液検査でピロリ菌感染の有無と萎縮の程度を予想した値を測って、それらを組み合わせたものが行われるようになりました。また、胃透視の代わりに上部内視鏡検査（以下胃カメラ）を検診で行う自治体も出てきました。これらの中で特に大事なものが、ピロリ菌の検査と胃カメラです。検査をしたことがない方は、是非一度、二つの検査を受けてみて下さい。主治医の先生に相談するか、当院であれば人間ドックで検査することができます。お住いの自治体でも検査できる可能性がありますので、役所に確認してください。ピロリ菌がいたら、それを退治すること（除菌と言います）で、胃潰瘍や胃がんになる率が半分以下に下がることがわかっています。

大腸がん検診は、まず便潜血検査であり、これは多くの自治体で行われています。２日間、便の一部を棒で取って容器に入れる簡単な検査です（２回法）。これで、進行がんの７－８割は血液反応が陽性になります。便潜血陽性であれば、次に大腸内視鏡検査（以下大腸カメラ）を行います。また、最近排便の異常が気になるという場合も、主治医と相談して、大腸カメラを予約してもらってください。この大腸カメラはやや敷居が高いかもしれません。その理由は、お尻から大腸にカメラが入ること、前処置として２Ｌ程度の水分下剤を飲むこと、ほぼ１日がかりなこと、などです。しかし、この検査はとても大事なものです。進行がんだけでなく、早期のがんや大腸ポリープもみつかるからです。大腸がんの多くは良性のポリープが徐々に大きくなって、その中にできてきます。ですので、検査でみつかったポリープをその場で切除すれば、大腸がんの芽を摘むことになります。便潜血陽性→大腸カメラ→ポリープ切除→３年ごとの再検査、という流れで行けば、進行大腸がんになる率が大幅に下がるのです。当院では、進行がんの場合は外科で手術を、早期がんの場合は内科で内視鏡治療をお勧めしています。

今回のお話のポイントは、早期発見や予防ができるがんは、そのための検査を受けましょう、ということでした。もちろん私自身も二つのカメラ検査を受けています。では皆様お元気で。

新　任　医　師　紹　介

2019年7月1日採用

呼吸器外科　主任医長
喜納（きな）　五月（さつき）

８年３か月ぶりに東京逓信病院呼吸器外科に戻ってきました。満足していただける医療を提供できるように精進していく所存です。よろしくお願い致します。

内分泌・代謝内科　医師
尾形（おがた）　侑香（ゆか）

７月から赴任致しました。患者さんの病態に応じた医療を行い、病気を少しでも改善できるよう努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

2019年9月1日採用

耳鼻咽喉科　医師
吉川（きっかわ）　弥生（やよい）

９月に着任しました。皆様とともに『より良い医療の創造』を目標に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

皮膚科　医師
間中（まなか）　結香（ゆか）

患者さんに寄り添った医療を提供できるよう努めます。よろしくお願い致します。

当院を退職しました

2019年6月30日退職

水谷　栄基（呼吸器外科　医長）
佐藤　ゆずり（泌尿器科　医師）

2019年8月31日退職

瀧浪　紗也子（皮膚科　医師）
藤本　千里（耳鼻咽喉科　医師）

「病院機能評価」の更新が認定されました

東京逓信病院では2004年６月21日から、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している「病院機能評価」の認定を取得しています。この度、2019年６月７日付で「一般病院2 3rdG:Ver.2.0」への更新が認定されました。

病院機能評価とは、第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構が、国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その質の一層の向上を図ることを目的として実施しているものです。病院の各種機能について客観的にチェックを行い、全ての評価項目について一定水準以上にあると認められた場合に認定証が発行されます。2019年８月９日現在では、全国8,342病院のうち、当院を含めて2,174病院が認定されています。

審査では、
「患者中心の医療の推進」
「良質な医療の実践１（主に診療・ケアの実践）」
「良質な医療の実践２（主に各部門の機能発揮）」
「理念達成に向けた組織運営病院組織の運営」
の４領域で、２日間にわたり書類審査・面接調査・ケアプロセス調査等、89項目に及ぶ審査を受け、認定を更新することができました。

※詳細及び当院の評価結果は下記サイトをご覧ください。
公益財団法人日本医療機能評価機構Webサイト
http://www.report.jcqhc.or.jp/

当院では、今回の認定更新に満足することなく病院運営の改善活動を継続するとともに、今後も「満足いただける心のこもった良質な医療の提供」を目指し職員一丸となって努力してまいります。

ナースステーション

中央手術室のご紹介

中央手術室　看護師長　小林　直子

中央手術室は、手術室・救急科（以下急患室）・中央滅菌材料室を担当しています。

手術室には、９つの部屋が在り、11の診療科（消化器外科・呼吸器外科・眼科・整形外科・形成外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・脳神経外科他）で年間約4000件の手術を行っています。手術室看護師は、手術看護認定看護師1名、周術期管理チーム看護師１名を含んで居り、患者さんの周手術期（手術前・中・後の一連の期間のこと）に関わります。入退院支援センターや、入院後（手術前）の病棟に訪問し、ご本人様だけでなく必要に応じてご家族様と共にお話を伺います。患者さんの疑問にお答えすると共に、患者さんの不安を少しでも軽くできるようにお話したり、お応えいただいたお返事から手術前準備に必要な事項を検討して、手術がより安全・速やかに行えるように整えています。手術後もできる限り病棟に伺って、手術室での対応や、患者さんがお持ちの疑問を解決に繋げられるようにお話させていただいております。手術中は速やかな手術進行そして、安全確保が大切な役割になります。先般他施設で発生している患者間違いや手術部位間違いを防ぐべく、手術室入室時から患者さんご自身に最低２回は氏名を名乗っていただき、手術部位をお答えいただくなど御協力いただいています。皆様嫌がらずにお答えいただいており有り難く思っています。また、手術器械準備時・手術終了時・手術後器械洗浄時に器械類総数を数えたり、レントゲン撮影するなどして器械の体内遺残を防止し安全を図っています。

急患室の勤務は３交替をとり、急な病気やケガなどに迅速に対応しています。夜間休日の緊急手術時は、急患室勤務者が手術に入るなど、患者さんにとってより速やかな対応ができるように整えています。また、地域の防災訓練に参加して緊急時トリアージを行うなど、地域に根差した活動をしています。

これからも安全な治療環境を整えて、患者さんに満足いただける良質な医療の提供を目指していきますので、宜しくお願いいたします。

人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

年に1回は健康チェック

男性　基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	
腎・尿路系	炎症・その他	
代謝系		

料金　45,100円

追加でオプション検査もございます。

女性　基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	婦人科(子宮頸がん検診)
腎・尿路系	炎症・その他	外科系(乳房撮影＋触診)
代謝系		

料金　52,360円

追加でオプション検査もございます。

2019年10月１日から人間ドック等の料金が変わりました！

消費税の変更に伴いご利用料金が変更になりました。詳細はお電話でお問合せいただくか、当院ホームページをご確認ください。

また、いわゆる法定健診「定期診断」、「採用時健康診断」、「海外渡航時及び帰国時の健康診断」、「特定健康診断」を実施しています。近隣の企業さまや、千代田区近隣にお住まいの方でご希望される方は、是非当院で健康診断をお考えください。実施時間など詳細については、お電話でお問合わせください。

（電話03-5214-7055）